

スタートアップガイド



使用上のご注意

本装置を取り扱う前に本書の説明をよくお読みください。本書は、必要なときすぐに参照できるように、お手元に置いておくようにしてください。本装置をご使用前に本書を必ずお読みください。また、本文中の名称についてはユーザーズガイドの「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

本製品の利用目的について

本製品は、高速処理が可能であるため、高性能コンピュータの平和的利用に関する日本政府の指導対象になっております。ご使用に際しましては、下記の点につきご注意ください。よろしくお願いたします。

1. 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により適切なアクセス管理をお願いいたします。
3. 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等に関する不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚した場合には、速やかに弊社相談窓口までご連絡ください。
弊社相談窓口：ファーストコンタクトセンター 電話番号：03-3455-5800

安全にかかわる表示について

Express5800シリーズを安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱ってください。

本書には本装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

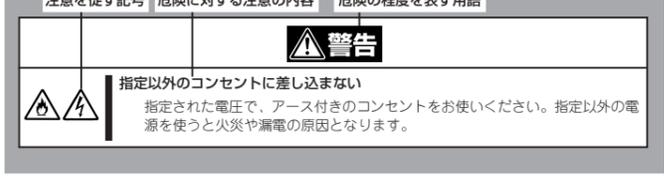
警告 人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。

注意 火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例：感電注意
行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例：分解禁止
行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例：電源プラグを抜く

(本書での表示例)



本書およびラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	発煙または発火のおそれがあることを示します。		感電のおそれのあることを示します。
	指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	破裂のおそれがあることを示します。		

行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの障害のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。		

安全上のご注意

全般的な注意事項

警告

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じて弊社はいかなる責任も負いかねます。

煙や臭気、異音が生じたまま使用しない

万一、煙、臭気、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔やフロッピーディスクドライブ、光ディスクドライブなどのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

注意

海外で使用しない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。

装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、ただちに電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

電源・電源コードに関する注意事項

警告

ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

警告

アース線をガス管につながらない

アース線は絶対にガス管につながらないでください。ガス爆発の原因になります。

電源プラグを接続したままアース線の取り付けや取り外しをしない

アース線の取り付け/取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源プラグを接続したままアース線に触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

注意

指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧で、アース付のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様と合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。

たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。

ケーブル部分を持って引き抜かない

ケーブル部分を抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードの上のものを載せない。
- 電源コードを踏まない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードを改造・加工・修理しない。
- 電源コードをステーブラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)

添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

注意

フロントマスクを持って運ばない

本装置を運ぶときはフロントマスクに手をかけて持ち上げないでください。フロントマスクが外れ、本装置を落としたり、フロントマスクを壊したりするおそれがあります。

指定以外の場所に設置・保管しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 給湯器のそばなど湿気の高い場所。
- 不安定な場所。

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。ご不明の点は販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

電源プラグを差し込んだまま本装置内蔵用オプションやインタフェースケーブルなどの取り付けや取り外しをしない

オプションの取り付け/取り外し、インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源プラグを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

安全上のご注意 - つづき -

注意

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上のものを載せない。
- 破損したケーブルを使用しない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

警告

自分で分解・修理・改造はしない

本装置の説明書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

光ディスクドライブの内部をのぞかない

光ディスクドライブはレーザーを使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。

リチウムバッテリーを取り外さない

本装置内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています。リチウムバッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。また、リチウムバッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。

電源プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け/取り外し、装置内ケーブルの取り付け/取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源プラグを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを接続したままアース線の取り付けや取り外しをしない

アース線の取り付け/取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源プラグを接続したままアース線に触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

注意

高温注意

本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。

中途半端に取り付けない

電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

注意

雷がなったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。

注意

ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。

装置の上のものを載せない

本体が倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。

光ディスクドライブのトレイを引き出したまま放置しない

引き出したトレイの隅からほこりが入り、誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。

ヘッドフォンを耳にあてたまま接続しない

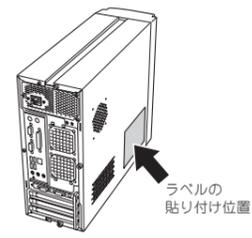
ヘッドフォンを耳にあてたままヘッドフォン端子に接続しないでください。耳を痛めるおそれがあります。また、接続前にボリュームが大きくなっていないことを確認してください。

巻き込み注意

本装置の動作中は背面にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

警告ラベルについて

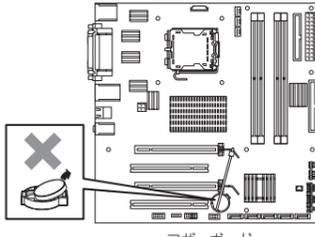
本装置内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本装置を操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれがっている、汚れているなどで判読できないときは販売店にご連絡ください。ラベルの内容をよく読んで警告事項を守ってください。



製品の譲渡と廃棄について

ハードディスクドライブ内の大切なデータを完全に消去していますか? OS上からは見えなくなってもハードディスクドライブに残っている場合があります。第三者へのデータ漏洩を防止するために、市販のツールや保守サービス(共に有償)を利用して、お客様の責任において消去してください。

- 第三者への譲渡について
本装置を第三者に譲渡(または売却)するときは、本書ならびに添付の部品や説明書、ライセンス許諾書などのドキュメントもいっしょにお渡ください。
- 消耗品・本装置の廃棄について
本体およびハードディスクドライブ、フロッピーディスク、DVD-ROMやオプションのボードなどの廃棄については各自自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自自治体へお問い合わせください。なお、装置添付の電源ケーブルにつきましても、他装置への転用を防ぐため、本体と一緒に廃棄してください。本体に搭載されているバッテリー(右図参照)の廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。



健康を損なわないためのアドバイス

このコラムでは、コンピュータ機器を使用する上で健康を損なわないため注意していただきたいことがらを記載します。身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

- よい姿勢で作業をしましょう。
- ディスプレイの向きや明るさ(ブライトネス)、コントラストを見やすく調節しましょう。
- キーボードの角度を調節しましょう。
- ときどき軽い体操をするなど、気分転換をはかりましょう。

情報サービスについて

このコラムでは、Express5800シリーズに関する情報サービスについてお知らせします。

- <http://nec8.com>
Express5800シリーズに関するさまざまな情報が盛りだくさんのホームページです。おお客様登録や登録の変更もできます。
<http://nec8.com/>
- <http://club.express.nec.co.jp>
Express5800シリーズをご利用のお客様を対象にさまざまな特典やサービスを提供するClubExpressのホームページです。お客様登録や登録の変更もできます。
<http://club.express.nec.co.jp/>
- <http://www.fielding.nec.co.jp>
NECフィールドイング(株)のホームページです。メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介します。
また、Express5800シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。
(電話番号のかけましがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター
TEL 03-3455-5800(代表)
受付時間 / 9:00~12:00, 13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日を除く)

その他

本装置を安全に正しく取り扱うための説明や注意事項は、オンラインドキュメントの「ユーザーズガイド」で詳しく記載されています。

スタートアップガイド

はじめに表面の使用上のご注意を必ずお読みください。安全に関わる大切な注意事項が記載されています。

箱を開けてから装置を使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

安全に関するご注意
装置をセットアップする前には、表面の使用上のご注意をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。
*本製品を安全に取り扱うための注意事項や詳しい説明が記載されている「ユーザーズガイド」は添付の「EXPRESSBUILDER」DVDの中にPDFファイルとして格納されています。

警告
● ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
● 内蔵型オプションの取り付け・取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
● 雷が降り出したら電源コードに接しないようにしてください。雷害による感電のおそれがあります。
● 本書および「ユーザーズガイド」に記載されている内容を抜き、分解・修理・改造を行わないでください。

注意
● 持ち運びの際は装置の底面をしっかりと持って運んでください。(フロントパネルには手をかけないでください)
● 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
● 装置に添付されている電源コード以外を使用しないでください。
● 電源コードは指定の電圧、コンセントに接続してください。
● 電源コードはタコ足配線にしないでください。

Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認してください。



添付の「構成部品表」を参照してください。
添付の「EXPRESSBUILDER」DVDや「バックアップCD-ROM/DVD-ROM」は、再セットアップの時に必要となりますので大切に保管しておいてください。

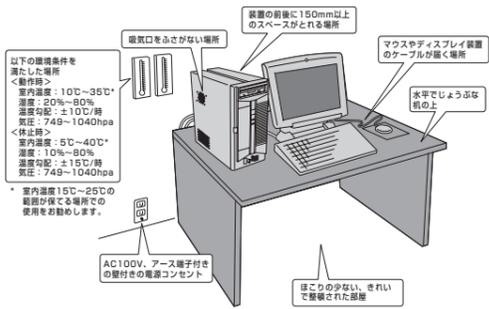
Step 2 ディスプレイボードを取り付ける

本装置にはグラフィックスアクセラレータボード(ディスプレイボード)が取り付けられていない場合があります。別売のディスプレイボードを取り付けてください。(装置背面にディスプレイコネクタがついている場合はステップ3へ進んでください。)

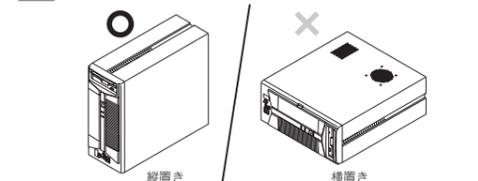
「EXPRESSBUILDER」DVD内の「ユーザーズガイド」または「ハードウェアクイックリファレンス」の「PCIボード」の項を参照してください。

Step 3 適切な場所に設置する

本装置の設置場所を決めます。

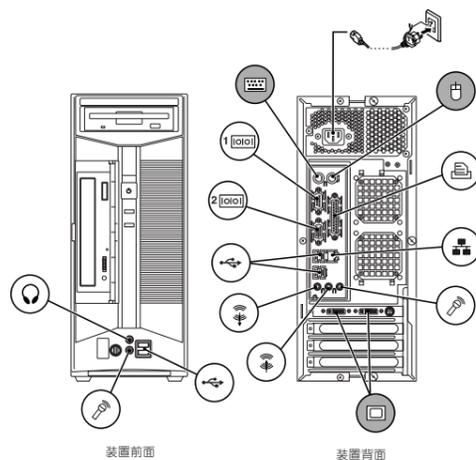


本装置は縦置き専用です。横置きにして使用することはできません。



Step 4 ケーブルを接続する

ケーブルを本装置にあるコネクタに接続します。



* 購入したモデルによっては、フロッピーディスクドライブや光ディスクドライブが搭載されていない場合があります。

アイコン	接続する機器
	キーボード*1
	マウス*1
	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tインタフェース機器 (Hubなど)
	USBインタフェース機器 (Hubなど)*2
	シリアルインタフェースを持つ機器 数字はポート番号を示す
	パラレルインタフェースを持つプリンタ
	ライン入力端子を持つ機器 ヘッドフォン端子兼用
	ライン出力端子を持つ機器
	ディスプレイ装置*1、*3
	マイク
	ヘッドフォン

*1 初めてのセットアップでは、で示す機器だけを接続する。その他の機器は、オペレーティングシステムのセットアップを完了してから接続する。
*2 対応するドライバが必要。
*3 別売のディスプレイボードが必要。

Step 5 電源をONにする

前面のPOWER/SLEEPスイッチを押して電源をONにします。電源ON後にオペレーティングシステムのセットアップが始まります。本装置のハードディスクドライブには、Microsoft Windows Vista Businessまたは、Microsoft Windows XP Professional x64 Edition または、Microsoft Windows XP Professional がインストール済みです(別売のディスプレイボードを取り付けている場合は、ディスプレイボードに添付のドライバディスクも用意しておいてください)。

電源ON後、ディスプレイ装置にエラーメッセージが表示されたり、ビープ音が何度も鳴ったりしたときは、メッセージの内容やビープ音の鳴り方をメモして保守サービス会社に連絡してください。

- 1 本体のフロッピーディスクドライブや光ディスクドライブにディスクがセットされていないことを確認する。
- 2 ディスプレイ装置の電源をONした後、本体前面のPOWER/SLEEPスイッチを押す。
- 3 装置の構成やシステムの用途に応じて、BIOSのセットアップをする。

オプションのUPS(無停電電源装置)を接続している場合や管理ソフトウェアとの機能の連携をとる場合にシステムBIOSの設定を変更します(通常は出荷時の状態で問題ありません)。設定を変更するために、起動後、すぐに<F2>キーを押してください。BIOS(Basic Input Output System)セットアップユーティリティが起動します。

* 本装置は購入時のオーダーによって光ディスクドライブには、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブ、DVD Super MULTIドライブのいずれかが搭載されています。本書ではこれらをまとめて「光ディスクドライブ」と呼んでいます。

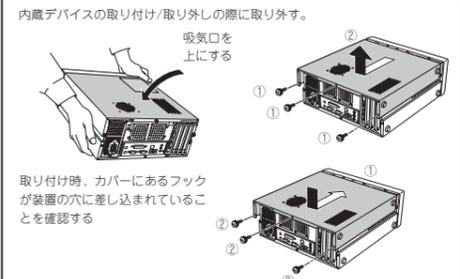
Step 6 バンドルソフトウェアのインストールとセットアップをする

Windows2000+IE6.0、WindowsXP、VistaまたはWindows Server 2003 が動作しているコンピュータ上で添付の「EXPRESSBUILDER」DVDをセットすると、オートラン機能により自動的にメニューが起動します。「EXPRESSBUILDER」にはExpress5800シリーズが提供するシステム全体の運用管理を行うための各種ユーティリティが収録されています(オペレーティングシステムのセットアップの際に選択したアプリケーションはハードディスクドライブにインストール済みです)。これらのユーティリティを利用したTCO(Total Cost of Ownership)の削減、重大障害の未然防止、障害からの早期復旧を実現するために、ご使用になる環境に合った状態にセットアップしてください。

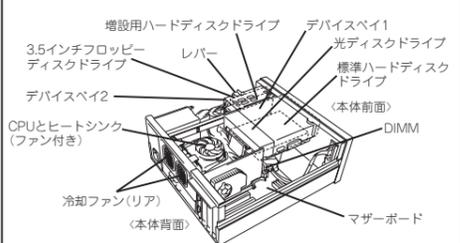


ハードウェアクイックリファレンス

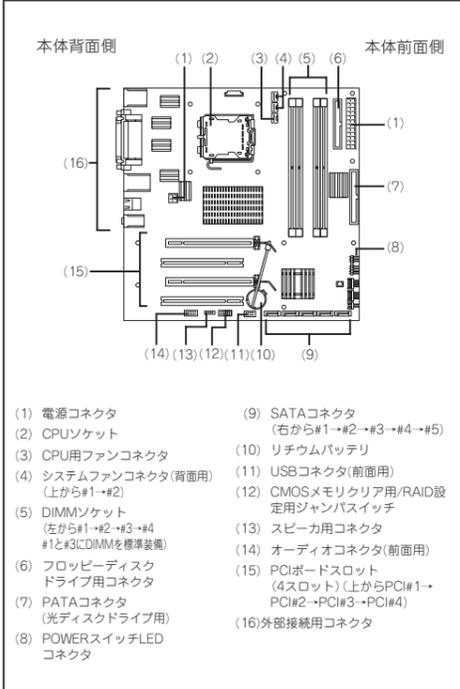
ベースカバーの取り付け/取り外し



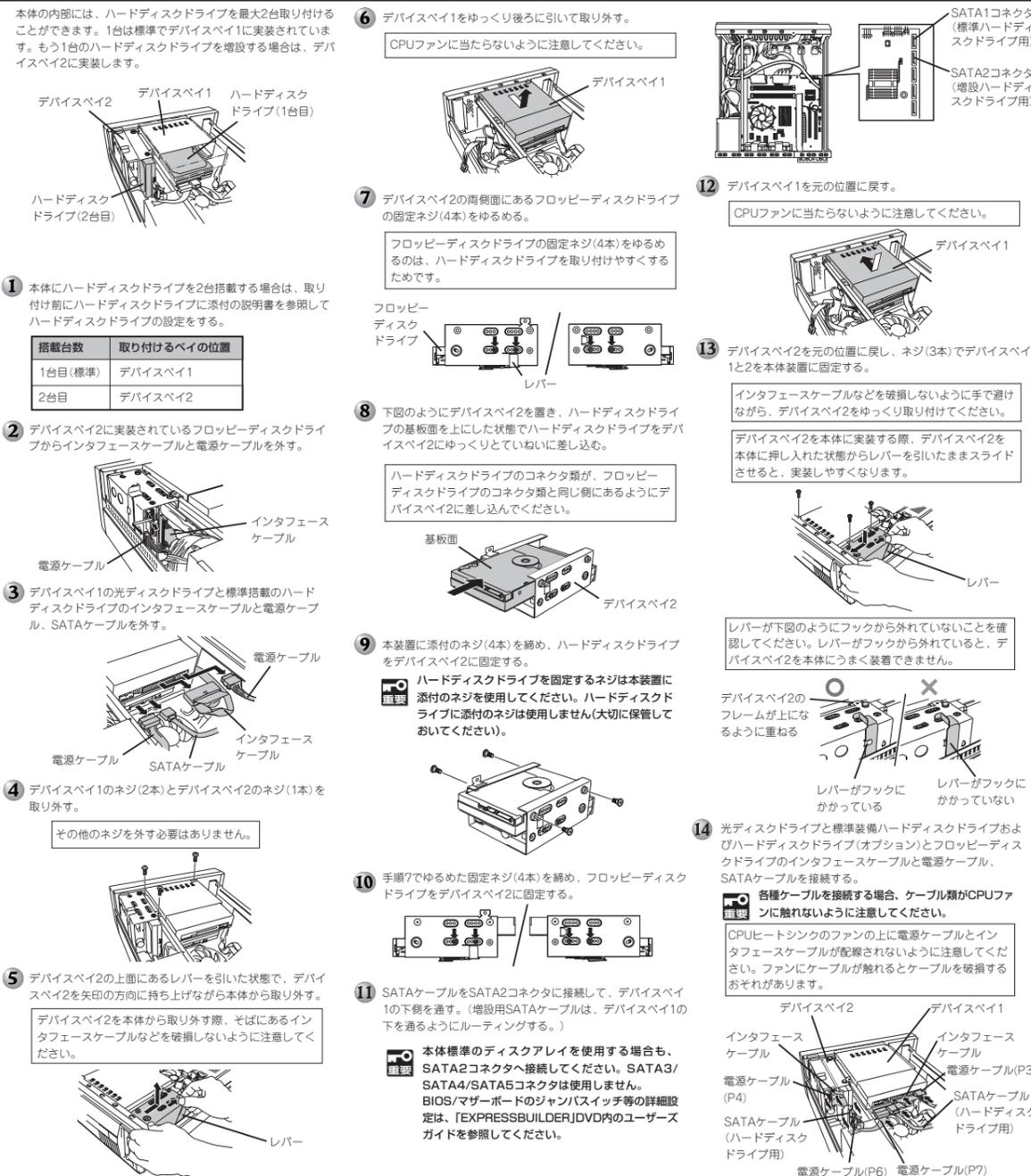
システム構成



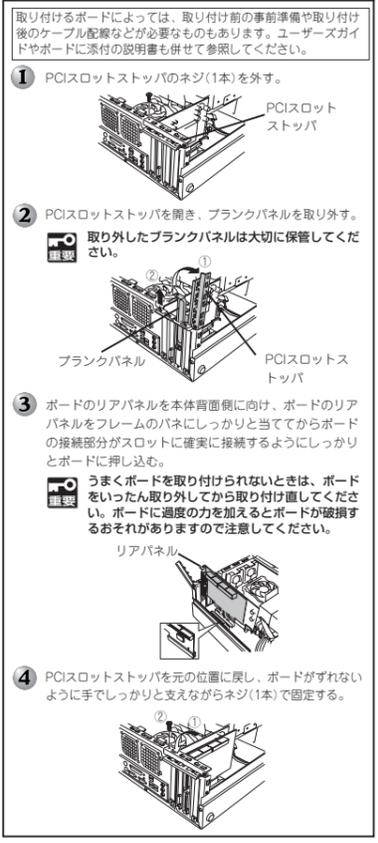
マザーボード上のパーツレイアウト



ハードディスクドライブ



PCIボード



DIMM

